

2016年1月4日
SMBC日興証券株式会社

年頭所感 久保哲也代表取締役社長発言要旨

明けましておめでとうございます。

本年は曜日の並びの関係で、ここ数年では一番短い年末年始休暇となりましたが、健やかに皆さんと新年を祝うことが出来ますことを、大変嬉しく思います。

昨年を振り返りますと、株式市場は、前半はアベノミクスの影響を受け上昇基調で推移したものの、後半になって、中国の景気減速が不安視され、株価は伸び悩みました。一方、昨年11月の日本郵政グループ3社の上場によって株式資産への注目が集まり、皆さんの頑張りにより当社へ新しいお客さまをお迎えし、新しい資金も大幅に増加しました。本年からはジュニア NISA がスタートし、「貯蓄から投資へ」の流れをより加速させていくことを大いに期待しています。

本年は、当社の中期経営計画の最終年度に入っていきます。中期経営計画の中では、「本邦 No.1 の総合証券会社」を目指す姿として掲げ、これまで体制整備を進めてきました。当社は、総合証券会社としての体制整備のステージから、大きく成長するステージになっております。確りと成果を出せるよう、役社員の皆さんと一丸となって「いっしょに、明日のこと。」のスローガンのもと、一日一日を大切にしていきたいと思います。

本年は「申(さる)年」です。「申」という漢字は、諸説ありますが、「樹木の果物が熟して固まっていく様子」を表したものとされており、本年も、皆さんのこれまでの努力が実を結び、完熟に向けて当社が大きく成長する年になりますよう、役社員一同頑張りましょう。

皆さんにとって素晴らしい一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

以上